

第7回コミュニティビジョン推進戦略会議の概要

(1) 第6回会議概要について

協議の結果	出席の全委員によって確認
委員からの 主な意見 及び 事務局回答	○委員 路線バスで地域振興課からのお知らせを聞くが、「町内会に加入して活動に参加しましょう」と言わなければならない。 ●事務局 予算や事業者との関係もあるので、出来る範囲で対応をしてみたい。

(2) モデル地域における取り組み状況について

協議の結果	出席の全委員によって確認
委員からの 主な意見 及び 事務局回答	○委員 名称が統一されていない理由は何か。 ●事務局 地域コミュニティ協議会の名称はそれぞれの地域で協議して決めていただいているためである。地域オリジナルの名前を付けるところから地域性が出てくると考えている。 ○委員 変な名前をつけるところが出てくるので、統一するべきではないか。 ○委員 土地柄があるので、将来にわたって検討していくことにしてはどうか。

(3) その他

<p>委員からの 主な意見 及び 事務局回答</p>	○委員	現在の推進体制は何名か。
	●事務局	地域振興課は課長1人、主幹1人、職員4人である。モデル地域には主幹、職員、コーディネーター（嘱託職員）の3人が出向いて協議に参加している。
	○委員	各地域コミュニティ協議会によって、部会の活動内容が異なっているが、主な地域活動を網羅しているかどうかが重要である。活動分野の仕分けは地域で行っているのか。
	●事務局	名称と同様、地域によって組織の成り立ち、あり方など様々である。地域の総意で立ち上げ、運営をしていただきたい。
	○委員	市では環境・観光・子育て・協働・教育・経済・健康の7Kを唱えている。これが活動内容に入っていること確認すればよいのではないか。
	○委員	今後、地域に職員やコーディネーターを張り付けることは考えていないのか。
	●事務局	26年度までモデル地域での活動等を評価・検証していきたい。設立を広げていくときに現行の体制ではいかかということになり、支所職員からどのように協力をもらうかということが出てくるだろう。将来的には市職員が加わるということも想定しながら、検証期間中に具体的に検討してまいりたい。
	○委員	早く取り組みたいという校区がでてきたら認めるのか。
	●事務局	予算が伴うものであるので、25年度は新たな設立は想定していないところである。26年度以降は来年の1月頃までにそういった声があれば、予算化していくということも考えられる。
	○委員	コミュニティスクールのモデル校を将来的に設置してもよいのではないか。
◎委員長	事務局で、検討項目として精査してほしい	
○委員	推進戦略会議で配布された資料は地域の方に見てもらってもよいのか。	
●事務局	地域で参考にさせていただけたらありがたい。	
○委員	モデル地域の方に来てもらって話を聞きたい。	
●事務局	機会を見つけてお願いしたいと思う。	